|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  | 第13章　主権国家体制の形成と地球規模での交易の拡大**４ 啓蒙専制国家の発展**（教科書 p.218～220） |  |

■節の課題

英仏に追いつこうとした新興国では，どのような改革が行われたのだろうか。

●**プロイセンとオーストリアの近代化〔p.218～219〕**

新興国

・プロイセン…〔　　　　　　　　　　　　　　〕のブランデンブルク選帝侯がプロイセン公国を併合して，1618年にできた領邦
→〔　　　　　　　　　　　　　　　　　　　〕のもとで軍隊や官僚制を整える

・1740年，〔　　　　　　　　　　　　〕（大王）が即位した年，
オーストリアで〔　　　　　　　　　　　　〕が即位

→〔　　　　　　　　　　　　　　〕がはじまる

→シュレジエンをめぐり，〔　　　　　　　　〕がおこる

プロイセン

・一躍ヨーロッパの強国となる

・地主貴族〔　　　　　　　　〕による農場領主制

・フリードリヒ２世…「君主は国家第一の下僕」

→〔　　　　　　　　　　〕の典型とされる

オーストリア

・〔　　　　　　　　　　〕

…啓蒙専制君主として中央集権化に努める

●**ロシアの台頭と東方進出〔p.219～220〕**

ロシア帝国

・〔　　　　　　　　　　〕（雷帝）

…16世紀，中央集権化をすすめ，農奴制を強化
〔　　　　　　　　〕の称号を用いる
〔　　　　　　　　〕の隊長〔　　　　　　　　　　〕の協力でシベリアに進出

・1613年，〔　　　　　　　　　〕を開く

ロシアの領土拡大

サンプル

・〔　　　　　　　　　　　〕（大帝）の西欧化政策

→不凍港を求めてスウェーデンと〔　　　　　　　　〕をおこす

→バルト海に進出，〔　　　　　　　　　　〕に首都を移す

→1689年，清とネルチンスク条約…清との通商

・18世紀後半，〔　　　　　　　　　　　　　〕（啓蒙専制君主）

…1773年からおこった〔　　　　　　　　　　　　　　〕

→農奴制を強化（再版農奴制）

…日本にラクスマンを派遣して通商を求める

●**ポーランド分割〔p.220〕**

・16世紀後半，〔　　　　　　　　　〕がとだえる

→貴族間の争いで政治が混乱

→ロシア・プロイセン・オーストリアは，1772年，ポーランドの国土を奪う（第１回分割）

・1793年，プロイセン・ロシアは第２回の分割を行う

→1795年〔　　　　　　　　　　〕らの抵抗

→残った領土も３国によって分割（第３回分割）

→ポーランドの消滅

memo